

藤島民報

2018年 4月22日

第1148号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」
と検索で入力を。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
(月177円程度)
4月 22人 24,789円
3月 42人 36,486円

各地域庁舎(旧町村)の平成30年度第1四半期工事発注見通し

○入札方法:「一」=一般競争入札「格」=格付指定型一般競争入札「指」=指名競争入札「随」=随意契約「総」=総合評価方式

○現場代理人の兼務:平成30年1月1日に、建設工事における現場代理人の兼務可能要件が改正されました。詳細は、鶴岡市ホームページ内の「(お知らせ)建設工事における現場代理人の兼務可能要件について※平成30年1月1日施行」。

担当課	工事(委託)名	工事(委託)場所	工期(委託)期間	工事(委託)業種	工事(委託)概要	入札等の方法	入札予定時期
教育委員会管理課	鶴岡市立榊引南小学校体育館天井等撤去工事(平成29年度繰越明許)	東荒屋地内	3箇月	建築一式	非構造部材耐震化にともなう体育館天井仕上げ材の撤去工事	格	第1四半期
	鶴岡市立榊引南小学校体育館照明設備耐震化工事(平成29年度繰越明許)	東荒屋地内	3箇月	電気設備一式	非構造部材耐震化にともなう体育館既存照明撤去、軽量LED照明化工事	格	第1四半期
都市計画課	大針農村公園公衆便所解体工事	朝日地内	2箇月	建築一式	公衆便所解体 N=1棟	格	第1四半期
	温海温泉パラ公園測量設計業務委託	温海地内	4箇月	測量設計	街区公園 実施設計A=0.2ha	指	第1四半期
	藤島歴史公園暗渠排水管設置工事	藤島地内	3箇月	土木一式	暗渠排水管整備 φ100 L=600m	格	第2四半期
土木課	庄南5号線道路改良工事	下山添	3箇月	舗装	舗装工 L=273m	格	第1四半期
	柳沢1号線道路改良工事	西荒屋	3箇月	土木一式	道路改良 L=60m	格	第1四半期
	早田9号線道路改良工事	早田	3箇月	土木一式	道路改良 L=60m	格	第1四半期
	平成29年災第2751号市道添川筋沢線道路災害復旧工事	添川	4箇月	土木一式	復旧延長 L=6m	格	第1四半期
	下田沢松沢線シェッド補修工事	松沢	5箇月	土木一式	シェッド補修 一式	格	第1四半期
	市道木野俣線向田橋撤去工事	木野俣	6箇月	土木一式	橋梁撤去 一式	格	第2四半期
	配水池温海岳線道路改良工事	湯温海	6箇月	土木一式	道路改良 L=187m	格	第2四半期
	早田9号線法面補修工事	早田	6箇月	土木一式	吹付法砕工 A=985m ²	格	第2四半期
	市道長沼栄線ほか冠水対策測量設計業務	長沼	5箇月	測量設計	詳細設計 一式	指	第2四半期
	宮の下宝谷線測量設計業務	宝谷	4箇月	測量設計	道路詳細設計 一式	指	第2四半期
	市道八久和線トンネル補修工事	上名川	4箇月	土木一式	トンネル補修 一式	格	第2四半期
	市道小在家大杉線防雪柵設置工事	黒川	4箇月	土木一式	防雪柵設置 L=88m	格	第2四半期
	市道松尾今野線防雪柵設置工事	羽黒町後田	4箇月	土木一式	防雪柵設置 L=228m	格	第2四半期
	市道大清水線(大清水橋)橋梁補修工事	五十川	4箇月	土木一式	橋梁補修 一式	格	第2四半期
	市道三千刈成沢線(大杉橋)橋梁補修工事	黒川	6箇月	土木一式	橋梁補修 一式	格	第2四半期
	野中漆原線道路改良工事	漆原	3箇月	土木一式	道路改良 L=229m	格	第3四半期

建築課	消防藤島分署耐震診断業務委託	藤島笹花地内	3箇月	建築設計	消防藤島分署の耐震診断業務	指	第1四半期
	羽黒第四地区地域活動センター整備工事	羽黒町上野新田地内	5箇月	建築一式	旧羽黒第四小学校を集会施設等への用途変更に伴う建築工事	格	第1四半期
	羽黒第四地区地域活動センター整備電気設備工事	羽黒町上野新田地内	5箇月	電気	旧羽黒第四小学校を集会施設等への用途変更に伴う電気設備工事	格	第1四半期
	羽黒第四地区地域活動センター整備機械設備工事	羽黒町上野新田地内	5箇月	管	旧羽黒第四小学校を集会施設等への用途変更に伴う機械設備工事	格	第1四半期
	羽黒第四地区地域活動センター整備工事監理業務委託	羽黒町上野新田地内	5箇月	工事監理	羽黒第四地区地域活動センター整備工事に伴う監理委託	随	第1四半期
	羽黒体育館トイレ改修工事	羽黒町地内	2箇月	管	羽黒体育館の和式トイレを洋式へ改修	格	第2四半期
	朝日保育園保育室改修工事	本郷地内	2箇月	建築一式	朝日保育園保育室の部分改修	格	第2四半期
	市営ふじなみ住宅外壁改修工事	藤波地内	3箇月	建築一式	ふじなみ住宅3棟の外壁改修	格	第2四半期
	市営下名川住宅屋根改修工事	下名川地内	3箇月	建築一式	下名川住宅2棟の屋根改修	格	第2四半期
	農山漁村振興課	平成30年度漁港整備改良事業 大岩川漁港西防波堤改良工事	大岩川地内	4箇月	土木一式	防波堤改良 L=60m	格
東2号幹線用水路木柵撤去工事		藤島地内	4箇月	土木一式	木柵・安全網撤去 一式	随	第1四半期
平成29年災 33-1東山農地災害復旧工事(繰越明許)		上野新田字東山川地内	5箇月	土木一式	L=24m	格	第1四半期
平成28年災大揚井頭首工災害復旧工事		添山川地内	6箇月	土木一式	頭首工 1箇所	格	第2四半期
羽黒町松尾地内配水管更新工事		羽黒町松尾地内	4箇月	水道	φ250 L=200m	格	第2四半期
水道課	送水ポンプ更新工事	温海地内他	4箇月	管	送水ポンプ N=7台	格	第2四半期
	黒川地内添架管移設工事	黒川地内	5箇月	水道	φ100 L=20m	格	第2四半期
	三川町横山地内配水管仮設工事	三川町横山地内	5箇月	水道	φ400 L=150m	格	第2四半期
	温海川水源改良工事	温海川地内	3箇月	土木	取水口改良	格	第2四半期
	羽黒中央地区1~201号路面復旧工事	赤川ほか	4箇月	舗装	舗装 L=3800m A=14000m ²	格	第1四半期
	羽黒中央地区12号新設工事(その2)	屋田・富沢	5箇月	土木一式	開削φ75~200×330m	格	第1四半期
下水道課	渡前地区圧送管吐出先人孔改良工事	渡前	4箇月	土木一式	2号人孔×2基	格	第1四半期
	羽黒中央地区狩谷野目ほかマンホールポンプ場改良工事	狩谷野目ほか	6箇月	管	マンホールポンプ設備一式×7場、躯体一式	条件付一般競争入札	第2四半期
	羽黒中央地区12-1~2号ほかマンホールポンプ設備工事	富沢・押口	4箇月	管	マンホールポンプ設備一式×2場	格	第3四半期
	耐震性貯水槽新設工事【黒川】	黒川地内	2箇月	土木一式	40m ³ 級 耐震性貯水槽の新設	格	第1四半期
	耐震性貯水槽新設工事【上名川】	上名川地内	2箇月	土木一式	40m ³ 級 耐震性貯水槽の新設	格	第1四半期
	防火水槽撤去工事【下名川】	下名川地内	1箇月	土木一式	無蓋防火水槽の老朽化に伴う撤去	格	第2四半期

長沼温泉「ぽっぽの湯」奮闘記 農産物直売所

水田単作地帯の平野

のど真ん中で特別、特徴も特産品もないところで、農産物直売所が果たして機能するか、不安だらけだった。

売るものや売り場、体制や規模もすべてが中途半端だったが、直売所利用組合の初代会長である深井嘉市市長の強いリーダーシップのもとで、まずまずのスタートが切れた。

長沼3大名物

長沼には昔から3大名物があり、唄にもある。

“春孟宗、夏すもも、秋伝九郎柿”を復活させた」と考えた。

平成8、9年のJA支所長時代に、長沼管内の全戸対象に本数や坪数などを調査し、「長沼の孟宗・すもも・伝九郎柿を復活させる会」を組織、後に「長沼名物の会」とした。

それまではすべて、自給用やおすそ分け程度だったものを直売所で販売した。

すももはすでに消滅していたが、孟宗は試食会などを通して販売し、現在は学校給食用にも供給出来ている。

伝九郎柿についても、販売スタートが新聞記事になった時は、酒田・鶴岡・温海からもぜひ食べたいと往年のファンからの電話があり、届けてほしいと言われれば何回か届けること

になった。



(写真・「食の都庄内」ブランド戦略会議から)

伝九郎柿は本来、「湯ざわし」が正だが、表皮が薄くすぐフヤケ、傷みが早い。

源泉を利用して脱渋試験したり、アルコール併用を試作したりした。

今はアルコール併用方式で皮くずれしない伝九郎柿が販売されている。

食べては甘さが強く、庄内柿が白砂糖とすれば、伝九郎柿は赤砂糖かザラメ的な味だ。知っている人でなければ当然売れず、見た目では手に取ってくれない。



(写真・庄内日報2009(平成21)年11月28日付)

マコモタケ

特別なものがない直売所に何かを捜していた時、マコモタケの記事を見つけた。

(つづく)

昭和も遠く45 中町・成澤功

遺産相続

「相続大改正」へ、新聞雑誌で大きく取り上げられている。大雑把に見て、例えば六親等以内の親族(いとこの孫等まで)が介護などに尽力した場合、相続人に金銭で請求可能、なんて項目を加えると請求者が多岐に亘り、相続の紛争が増える危険がありはしないか。

酒田市の親戚の娘が横須賀市の大病院の跡取り息子に嫁いだ。間もなく院長が病死し、これをキツカケとして相続権利者達が、故人の莫大な遺産をめぐって裁判沙汰となった。

親族同士、道路ですれ違っても顔を背ける事態となった。私の成澤一族でも財産家の叔父が昭和62年73歳で死去した。妻も一人息子も早くに亡くし、ずーっと男

やもめを長年続けてきた。当然、相続権者は叔父の三親等の甥姪である私達にある。特別の遺言状の無い限りは、そうだ、正助叔父の三親等に位置する私達が相続権利者だ。

半世紀昔、藤島中学校の校長が小野寺忠先生だった。謹厳実直とはほど遠い豪放磊落、型破りの先生だった。私は用も無いのに藤中に出かけて、オノチユウさんと度々お会いしていた。

「成澤さんや、はつきり言うとお前家の正助ちゃんや冷えてえんだ。大川渡生まれで経済的成功者なのに、うちの

貧乏中学で色んな目的の奇附金をお願いする手紙を届けても、奇附はおろか、返事さえくれねんだもの。いつか正助ちゃんや会う機会があったら、藤中の校長がこんな『つぶやき』を漏らしていたと言った。

私は、「はい。校長の言葉そのまま正助叔父に伝えます」と約束してくつちやの。私には、はい。校長の言葉そのまま正助叔父に伝えます」と約束して

伝えたが、全く好い答えはもらえなかった。以上の経過を、相続権者の集まった席で報告し、全員の了解を得ることができた。この結果が平成2年4月12日(木)の荘内日報のトップ記事に集約されている。ご参照下さい。

天皇について、共産党の考えを学ぶ 青山崇

天皇について、共産党の考え

「あらためて憲法を学ぶ 青山崇

この問題に入る前に、

天皇についての共産党の考えが誤解されていることもあるので記しておく。

綱領(政党などが政策・方針などの基本を示したものを)を基に紹介する。

日本は敗戦によって新憲法を制定し、「天皇バンザイ」の天皇絶対政治を廃止し、主権在民、戦争の放棄、基本的人権、国権の最高機関としての国会など、民主主義の柱となる民主的平和的条項を定めた。しかし、形を変えて

天皇制存続を認めたことは民主主義と相いれないものであった。一人の個人が世襲で「国民統合」の象徴となるという制度は、民主主義および人間の平等の原則と両立しないもので、国民主権の原則の首尾一貫した発展のためには、民主共和制の政治体制にするべきだとの立場に立っている。

しかし、天皇の制度は憲法上の制度であり、その存廃は、将来、情況が熟したときに、国



もつカンネンしろ!

これが真実を究明する国会か。全く空しい答弁だ。テレビを見ていて実に悲しくて苛立つ。こうしてまで政権にしがみつくのか。こうしてまで政権を守ろうとするのか。これを見ている国民の精神衛生上、全然よろしくない時間だったです。

▲しかし、だんだんに足元が顕れ、ついてきたウソが少しずつ明らかになる。その恐怖で俺だったら身が持たないだろうと思うが、首

相などはタツチヨダもんだ。かばい続ける与党議員が居る限りというところか。だがここに

至って各派閥から少々苦情が出てきた。セヨ。▲森友で首相夫人は、名譽校長にまでなつて

首相が感激する教育勅語を朝読みする教育方針の学校のために働いてきたんだヨ。ダンナ

民の総意によって解決されるべきものである。現在、天皇については「国政に関する権能を有しない」などの規定を厳格に実施することを重視し、天皇を政治的に利用することをはじめ、憲法の条項と精神から離れないようにすることである。天皇制反対の立場からではなく、憲法にふさわしい行事にすべきという立場から今回の「申し入れ」も行っている。(つづく)

の為に良かれと思っていたんですよ。だから、前理事長が「神風が吹いた」という事にも。

▲それやこれやが8億を超す値引きに繋がったことになってはと、首相案件と言う文書から彼女の名前を消さねばならず、「改さん」になったという次第。

▲一方、加計学園はナンデイ自分の方は書類はネーダ・当事者は記憶がネーダと。使い古した「手」だぜ。こっちは、県知事が確かな証拠を出してテレビで見せてんだヨ。どっちを国民が信頼するかは明らかでしょう。

▲なにせ知事も職員も仕事が早く進んだことで、喜びこそすれウソを言う必要はこれっぽちもないんだからね。そんな裏付けが農水省から出たぜ。次は文科省ですかネ。じわりじわりと心臓が悪いぜ。首相には国会は針のムシロでしょう。(石川)

日刊 平成2年(1990年)4月12日 (木曜日)

庄内日報

発行所 庄内日報社
本社 鶴岡市馬場町8-29
電話 0235(22)480(代表)

酒田支社 酒田市中町1-14-14
電話 998
電話 0234(22)424(代表)
FAX 0234(28)0430
FAX 0235(22)148(代表)

●本誌へご利用の方は
○三本一冊や寄稿の
お申し込みは郵送
0235(22)148
○購読の申し込みは

第一号奨学生は4人

藤島「細川正助記念基金」贈る

藤島の公益信託奨学金制度で開かれ、四人の奨学生の代表として、藤島市の「細川正助記念基金」の発会記念式典が十日、同町中公民館で開かれた。学術研究に公益的事業に

県内の公益信託奨学金制度第一号となつた旧藤島町の「細川正助記念基金」発会を報じる「庄内日報」平成2(1990)年4月12日付

新井田川よりも早く

県内の公益信託奨学金制度第一号となつた旧藤島町の「細川正助記念基金」発会を報じる「庄内日報」平成2(1990)年4月12日付